



Press release

2018年9月7日

アクサ生命、埼玉県と「健康長寿埼玉プロジェクト」に関する連携協定を締結

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表執行役社長兼CEO:ニック・レーン)は、2018年9月6日、埼玉県(知事:上田 清司)と、県民の健康寿命の延伸を目指して相互に連携・協力することについて、協定を締結しました。

本協定は、埼玉県と当社が、県の主要施策である「健康長寿埼玉プロジェクト」に基づく健康づくり施策の取り組みを連携・協力して行い、県民の健康寿命の延伸に資することを目的としています。

本協定の締結により、当社が保険事業や健康経営[※]推進、企業として社会的責任を果たす取り組みなどを通じて培った知見と人的ネットワークを埼玉県の各種施策にお役立ていただき、県民の皆さまの健やかな生活と地域の発展のために共に取り組んでまいります。

(連携・協力事項)

上記の目的を達成するため、「健康長寿埼玉プロジェクト」に関わる次の事項について連携・協力する。

- (1)健康経営の推進に関すること
- (2)健康長寿サポーターの養成、拡大に関すること
- (3)糖尿病重症化予防の啓発活動の実施に関すること
- (4)埼玉県コバトン健康マイレージの普及推進に関すること
- (5)その他、双方が必要と認めること

アクサ生命は、埼玉県内において、1968年12月に本庄商工会議所の生命共済制度、1971年5月に上尾商工会議所ならびに所沢商工会議所の特定退職金共済制度の受託を開始するなど、商工会議所共済制度の推進を通じて事業所の皆さまの福利向上を図るべく、地域に根差した活動を続けてまいりました。

今後はさらに、健康経営の普及推進を通じた職域における健康増進のサポートなどの取り組みによって、埼玉県民の皆さまの健やかで幸せな人生の良き「パートナー」となることを目指し、本協定の連携・協力事項に取り組んでまいります。

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。





アクサ生命について

アクサ生命は AXA のメンバーカンパニーとして 1994 年に設立されました。AXA が世界で培ってきた知識と経験を活かし、237 万の個人、2,200 の企業・団体のお客さまに、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品を、多様な販売チャネルを通じてお届けしています。2017 年度には、2,500 億円の保険金や年金、給付金等をお支払いしています。また、「アクサ損害保険」と「アクサダイレクト生命」を連結する親会社として、子会社各社の経営管理・監督を行っています。

AXA グループについて

AXA は世界 62 ケ国で 16 万人の従業員を擁し、1 億 500 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2017 年度通期の売上は 985 億ユーロ、アンダーライティング・アーニングスは 60 億ユーロ、2017 年 12 月 31 日時点における運用資産総額は 1 兆 4,385 億ユーロにのびます。AXA はユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、AXA の米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI) や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ (UNEP FI) による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします：

アクサ生命保険株式会社 広報部

電話：03-6737-7140

FAX：03-6737-5964

<http://www.axa.co.jp>
